

2017年度第4回環境科学部フィールドスクール（10/28）「長崎の獣害対策—私たちの生活、地域、環境について考える」が行われました。

10月28日（土）に行われた第4回フィールドスクールでは、長崎県農林部の方々より獣害問題とその対策の現状について解説いただき、諫早猟友会のご協力のもと、捕獲されたイノシシを解体する体験実習も行いました。最初に長崎県農林技術開発センターを訪問し、獣害対策とは被害防除や捕獲だけではなく、捕獲した野生動物の利活用も含む総合的な対策であることを学びました。その後、猪解体処理センター（諫早市）を訪問し、学生たちは専門家にご指導をいただきながら、自分たちの手で捕獲されたイノシシを解体しました。解体した肉は各自持ち帰り、調理して食べるところまで取り組みました。



獣害対策について解説していただいた。（長崎県農林技術開発センター）



最初にイノシシの解体手順を教えていただいた。（猪解体処理センター）